

連合兵庫2023政策研究集会 主催者あいさつ（要旨）

本日の「連合兵庫2023政策研究集会」は、ハイブリッド形式で開催させていただいております。構成組織、地域協議会、フォーラム議員の多くの皆さんに参加をいただき、感謝申し上げます。

いま、労働者・生活者に密接に関わる課題は、枚挙に暇がありません。

不安定な雇用形態が増大し、中間所得層が減少・貧困の固定化・格差拡大などの分配のゆがみが顕在化するなかで、3年半にわたったコロナ禍が、より弱い立場にある労働者の雇用と生活に深刻な影響をもたらしました。また、同時に、エネルギー・原材料価格上昇による物価高騰が追い打ちをかけ、生活困窮世帯が増加する一方で、セーフティネットの脆弱さを露呈しました。

その他にも、多発する自然災害、GX・DX推進、ジェンダー平等・多様性推進、働き方改革、働き手不足などに起因する多岐にわたる課題を抱える現状です。

このような複雑な情勢だからこそ、労働組合として、「求める社会」を明確にし、その実現をめざすことが、社会的責任を果たすことだと考えます。

ご案内のとおり、連合がめざすのは、「働くことを軸とする安心社会」の実現です。

本日ご参加の皆さんには、それぞれの立場で、「働くことを軸とする安心社会」に向けた政策実現のため、日々ご奮闘いただいていることに、あらためて敬意を表します。

さて、本研究集会は、構成組織、地域協議会、連合兵庫フォーラム議員の皆さんに、連合の「政策・制度要求」と「重点政策」の理解を深めていただくこと、および「地域課題」について認識を深め、共有をはかることを目的としています。

連合兵庫は、連合本部がとりまとめた政策制度要求・提言も踏まえつつ、地域事情や労働事情なども十分考慮した内容とすべく、構成組織の皆さんや専門委員会委員からの意見を集約し、「2024年度 政策・制度要請」を取りまとめてきました。

そして、兵庫労働局に対して9月11日に、兵庫県に対しては9月19日に、それぞれ要請書を提出し、意見交換を実施してきました。

また、「2024年度政策・制度要請（市町版）」も策定し、地域協議会を通じて、各市町に対しての要請行動を行うことにしています。

連合兵庫は、「誰もが将来に希望を持てる社会」をめざし、兵庫県や労働局、各市町と連携しつつ、政策実現の取り組みを強化して参ります。

その意味で、本研究集会が、「意義ある場」となりますことを祈念し、主催者挨拶とします。